

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 台風第4号については最新の台風予報を参照。
- 15日は、高気圧が日本の東に移動するが、次の高気圧が沿海州付近に移動する。前線が日本の南に停滞する。
- 16日から17日にかけて、高気圧が北日本を通過して日本の東へ移動する。
- 18日から19日にかけて、日本付近を気圧の谷が通過し、低気圧がオホーツク海から千島の東へ進む。高気圧が朝鮮半島付近でほとんど停滞する。

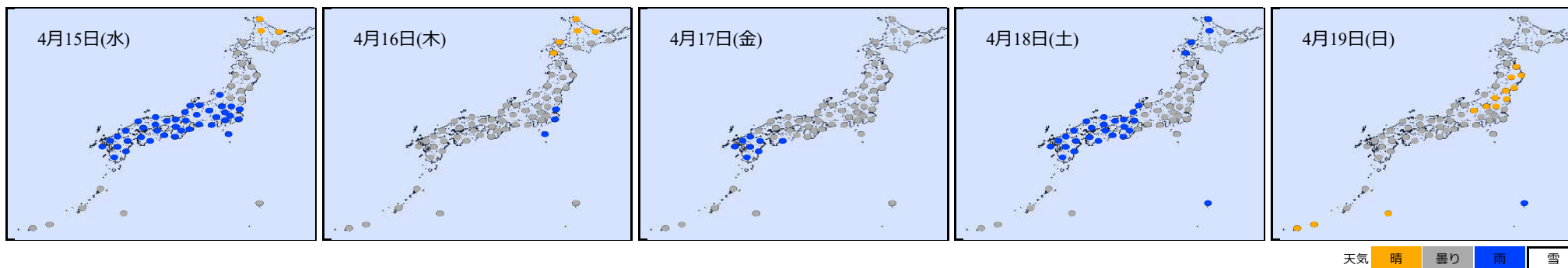
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

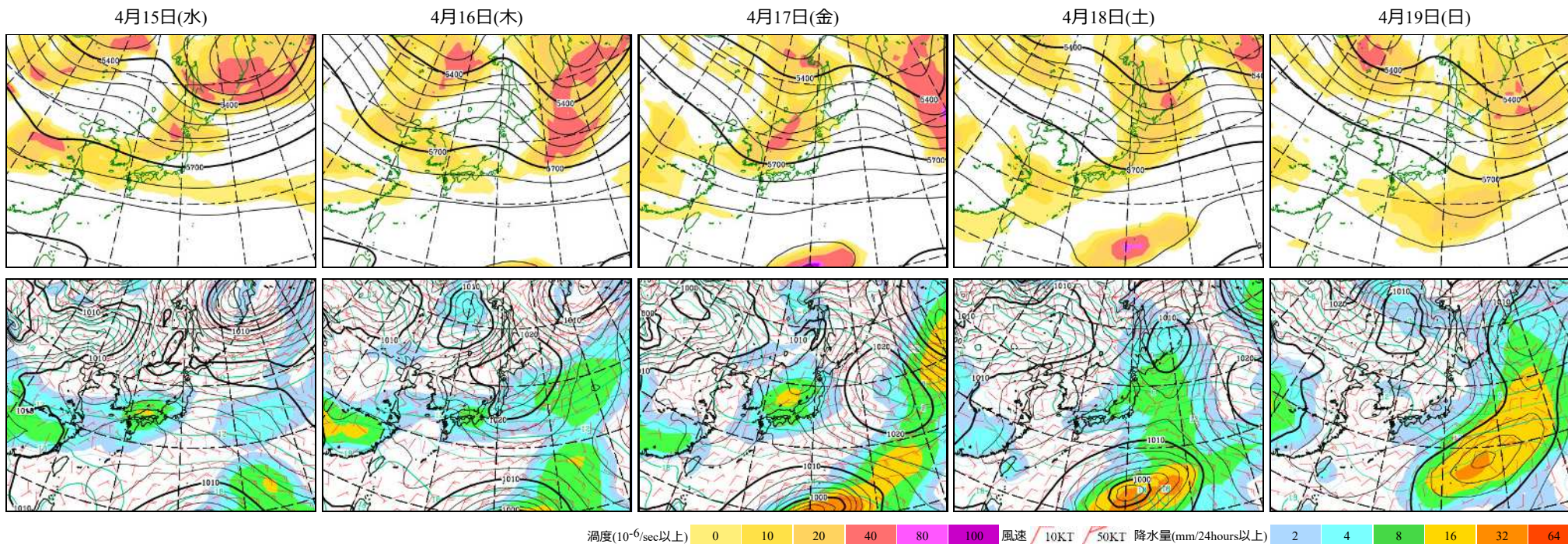
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

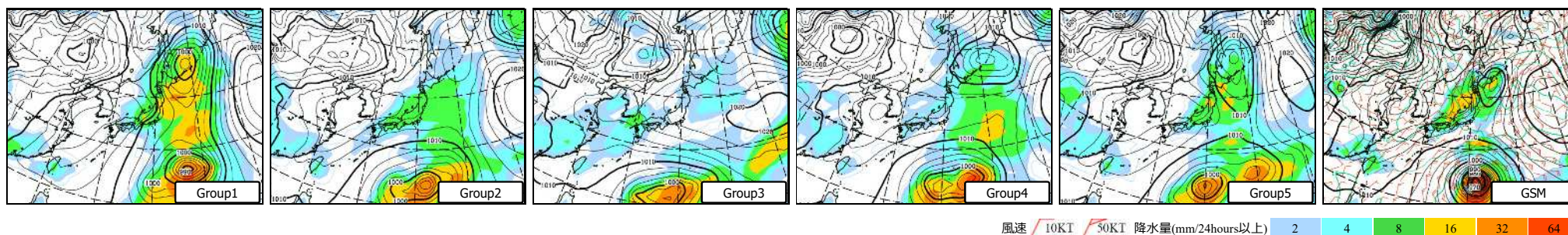


- 北日本は、曇りや晴れの日が多いが、18日は雨の降る所がある。
- 東日本は、雲が広がりやすく、15日は雨の降る所が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月18日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、15日は西日本の南の気圧の谷が深まった。このため、東日本から西日本で降水確率ガイダンスの値が大きくなった。
- モデル間の差は16日までは小さいが、17日以降はENSと各モデルとの差が大きくなり、低気圧の位置や高気圧の日本付近への張り出しなどに違いが見られる。
- スプレッドは期間の終わりで大きく、特定高度線のばらつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考えるが、17日以降はGSMや海外モデルも参考にする。

今日から明日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。